

「家庭教育に関する会員の意識調査」集計結果

「親切で心の温かい人」に育てたい

(平成21年6月調査のまとめ)

今回の意識調査は、平成14年度に行った「完全学校週五日制実施に関する家庭実態調査」以来、7年ぶり。県内小中学校60校ずつを抽出し、小2と小5、中2の保護者計9、246人に質問紙を配布、83%にあたる7、653人から回答を得、この度調査の集計・まとめが「報告書」として出上がりました。

- 一、家庭教育の現状
- 二、子どものパソコン・携帯電話
- 三、子どもを取り巻く環境
- 四、学校教育の現状と課題
- 五、PTA活動の現状

それぞれの内容について特徴的な集計結果や考察を紹介します。

■家庭教育の現状

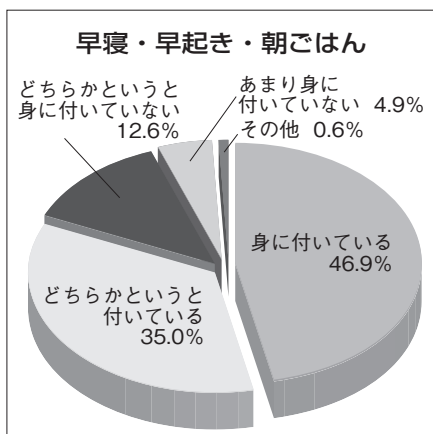
《将来像は「親切で心の温かい人」が50%以上》

【問3】の保護者の描く子どもの将来像は、平成3年度、平成11年度の調査も同様な結果でした。「人に親切で心の温かい人」がトップで

保護者の5割以上(回答は2選択)が選択しています。「平和」「正義感」「国際性」に関する人への選択は低い状況でした。

前回、前々回の調査を基盤としながらも、パソコン・携帯電話の所持に関わっての質問等新たな調査内容も取り上げています。委員の方々には、集計結果の考察もお願いしました。調査内容は大きく分けると次の五つになります。

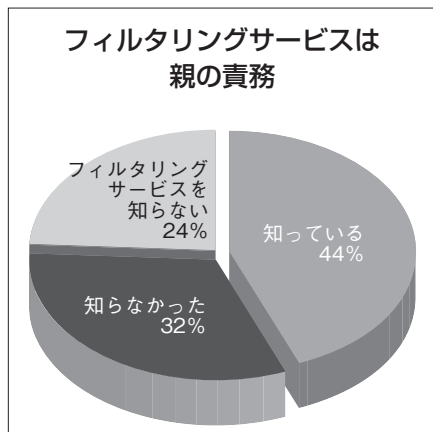
一、家庭教育の現状
二、子どものパソコン・携帯電話



■子どものパソコン・携帯電話

《フィルタリングは親の責務—30%以上知らない》

【問12】のパソコン等の使用方の指導では、指導していないと回答した保護者が中2で37%、小2、小5合わせて全体の50%以上



と続きますが、学習時間、読書時間、テレビ視聴やゲームをしている時間等子どもの現状と保護者の望ましいと考える時間との間に開きがありました。

【問21】平日の家庭学習の時間について、保護者の望む時間は、中2の保護者の60%が「1時間以上2時間未満」、28%が「2時間以上3時間未満」を望んでいるのに対し、現状は「30分以上1時間未満」が42%と最も多く、全体としても「1時間未満」の合計が50%を超えています。

【問22】の読書時間についても同様な傾向にあり、休日でも、中2で45%が読書をしていないという結果になっています。

■PTA活動の現状

《PTA活動に努めて参加しようとする保護者》

PTA活動の現状について平成11年度に実施した「意識調査」と比較しながら調べました。結果はライフスタイルの変化や昨今の社会情勢を反映しているものの活動には何とか参加したいという姿勢が何われま

■全体を通して

岩手のPTA会員は、学校(教職員)や教育活動、PTA活動に対して肯定的で、協力的な考えや姿勢であることが伝わってきました。

【問18】では「岩手の子どもへの教育にとって、いま何が必要か」という問いに「子どもの学習意欲」をトップに、「教師の熱意や指導力」

【問18】では「岩手の子どもへの教育にとって、いま何が必要か」という問いに「子どもの学習意欲」をトップに、「教師の熱意や指導力」

【問18】では「岩手の子どもへの教育にとって、いま何が必要か」という問いに「子どもの学習意欲」をトップに、「教師の熱意や指導力」